

# サイエンスアゴラ2021(オンライン開催)募集要項

20210601ver.  
サイエンスアゴラ事務局

**プレアゴラ** 10月10日(日)~11日(月) 6企画(予定)

**サイエンスアゴラ** 11月3日(水・祝)~7日(日) 80企画(予定)

**テーマ** Dialogue for Life

ウィズコロナの暮らしが始まって1年、私たちをとりまくLife(生命・暮らし・人生)は、いまだ危機にさらされ変容を余儀なくされています。そんな中、科学は社会に対し何ができるのか、安心して豊かな社会のための科学はどのようなものか、私たちが科学に求める役割について改めて考えてみる必要があります。そのため、今年のサイエンスアゴラはこれまで以上に「対話」を重視します。様々なトピックを、様々なLifeの軸で語り、意見を交わし、科学技術の役割や未来像を共に描きましょう。

**主催** 国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)

## もくじ

サイエンスアゴラとは .....	3	出展までの流れ .....	17
昨年の合計視聴数・参加者数 .....	5	出展形式選びのフローチャート.....	18
サイエンスアゴラ2020からの改良点 ..	6	応募の手順 .....	19
企画実施後の交流について .....	8	応募フォームの内容 .....	20
出展企画の公募について .....	9	JST主催企画、コラボ企画等.....	25
応募条件 .....	10	サイエンスアゴラ2021推進委員会.....	27
各日の企画実施数 .....	11	協賛企業の募集について.....	28
会期中のタイムテーブル .....	12		
企画のジャンルについて .....	15	特別付録	
審査の観点 .....	16	サイエンスアゴラ2021における企画の発想と組み立て	

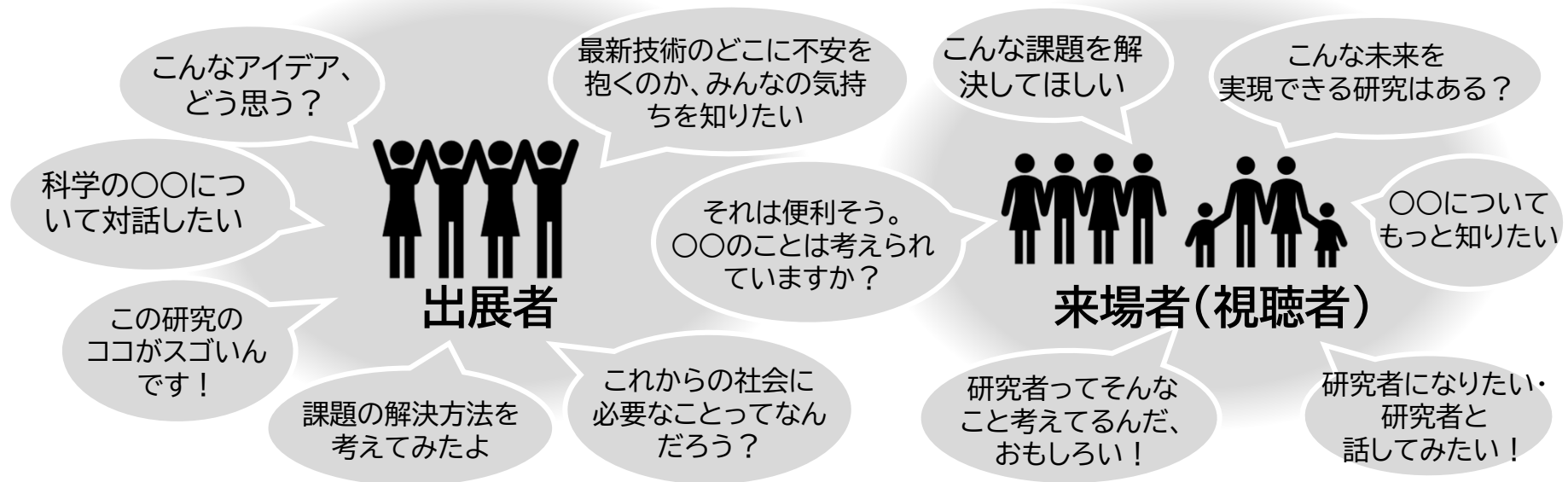
分かりにくい点はJSTサイエンスアゴラ事務局([agora@jst.go.jp](mailto:agora@jst.go.jp))までお問い合わせください。後日、SNSや公式ウェブサイトにも主な質問と回答をまとめて掲載します。



# サイエンスアゴラとは

※アゴラ(agora)は古代ギリシャ語で「広場」の意味

「科学」と「社会」の関係をより深めていくことを目的として、あらゆる立場の人たちが参加し、対話するオープンフォーラムです。



## サイエンスアゴラに集う活動の5要件

- 1) 社会とともにあること、社会のためにあること
- 2) 科学技術に関すること
- 3) 自発的であること
- 4) 多様な人とのつながりと対話を大切にすること
- 5) 公開の場で対話できること

サイエンスアゴラは、研究者だけが集まる学会ではなく、子供たちだけを対象としたイベントでもありません。多様な価値観を認め合いながら、皆が共に考え、未来社会を創り出す「共創」を重視します。あらゆる立場の人たちが対話・協働し、それを政策形成や知識創造へ結びつける「共創」に関心をお持ちの方は、ぜひサイエンスアゴラにご参加ください。なお、サイエンスアゴラでは、出展者、来場者を合わせて「参加者」と捉えています。

## **出展者にとっては**

科学そのものの面白さ・深さ、自身の研究の内容を社会に伝えることを通じて、来場者との対話により、研究が社会に与える影響や、科学と社会との関わりについて考える場です。

## **来場者にとっては**

普段出会えない研究者や専門家の考えを知り、これからの科学や技術に対し自らの希望を伝え、共に未来を考える場です。



# 昨年(サイエンスアゴラ2020)の 合計視聴数・参加者数

最終日11/22 17:30 時点  
ライブ配信82、オンデマンド20、計102企画

## 合計視聴数(のべ)

(Zoomウェビナー+ YouTube)

**25,979回**

## 参加者数 (※事務局にて把握できる範囲)

**10,574人**

{ Zoomウェビナー参加者数

2,612人

{ 会期中のYouTubeユニーク視聴者数

7,962人

## リアルタイム参加者数

**5,386人**

{ Zoomウェビナー参加数

2,612人

{ YouTubeライブ視聴者数

2,774人

ライブ配信の反省点:事前登録が必要なZoomでの参加を軸に考えていたが、YouTubeのライブ配信も行ったため参加者(視聴者)が二手に分かれた

# サイエンスアゴラ2020からの改良点

## ライブ配信のフォーマットはZoomが基本

ライブ配信の方式をZoomのみとし、対話の場が分かれるのを防ぎます。事前登録者が1000人を超えた場合は別途相談となります。YouTubeでもライブ配信したい場合は応募の際にお知らせください。

## 企画実施後にオンライン上の交流の場を設定

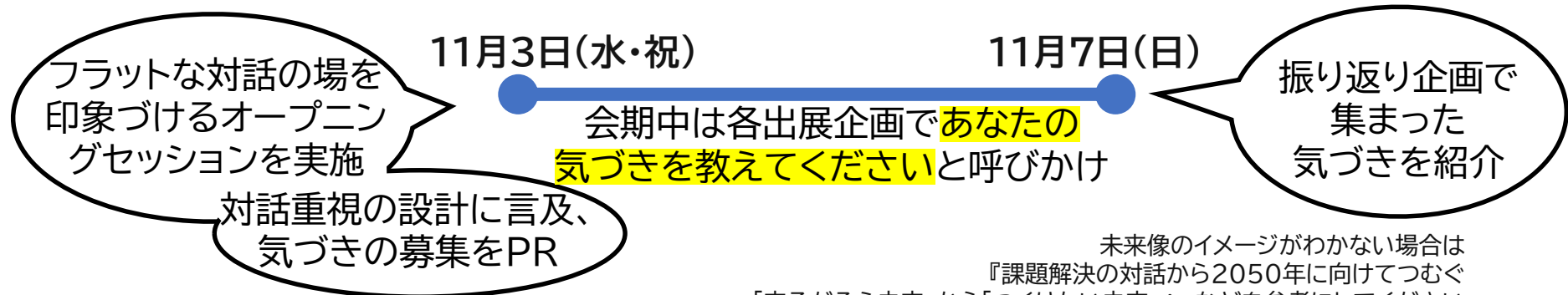
登壇者や参加者と気軽に意見交換したい、というご要望にお応えし、30分の交流時間を設けました。出展者が提示する未来像、あるいは、後日主催者が提供する未来像から希望のものを選んで、来場者と意見を交わしてください。

## 事前登録の仕組みを改善予定

①申し込みページは1企画ごとに作成、②事前登録者のメールアドレスは誓約書を提出の出展者にお渡し可能、③事前登録者への開催通知は2回→3回(1週間前・開催前・当日を予定)とします。

# サイエンスアゴラ2021では 各企画の対話を通して参加者が得た 「未来像への要望や気づき」を集めます

**求める企画** 望ましい社会を自分たちで作っていくことを意識し、話し合える企画を幅広く募集します。来場者(視聴者)は、みなさんの企画に参加してどのような未来像に触れられますか。その未来像に対し、来場者からの希望や疑問、未来への気づきをまとめて今後の活動に資するとともに、それを事務局に報告してください。様々な声を拾い上げる企画の提案を楽しみにしています。来場者の気づき等を提出した企画は可能な限り最終日に紹介します(プレアゴラの企画含む)。



未来像のイメージがわからない場合は『課題解決の対話から2050年に向けてつむぐ「来るだろう未来」から「つくりたい未来」へ』などを参考にしてください  
[https://www.jst.go.jp/sis/co-creation/items/create\\_future2021.pdf](https://www.jst.go.jp/sis/co-creation/items/create_future2021.pdf)

# 企画実施後の交流について

- 各企画の実施(90分以内)後に、30分の交流(参加者間の対話・ネットワーキング)時間を設定(企画実施の延長時間ではないことに注意。出展者と来場者(視聴者)の対話を通じて、新たな視点や気づき、ネットワークが生まれることを期待しています)

最大90分の企画を実施  
(動画は翌日公開)

+

30分の交流  
(動画は非公開)

企画実施と交流の時間は  
セットで考えてください

- 交流時間を含めた企画内容が審査対象
- 対話のファシリテーターは各企画主催者が務める(難しい場合は事務局に相談のこと)



# 出展企画の公募について

**締切** 2021年6月30日(水)23:59※日本時間

**採択数** プレアゴラ期間含めて合計86企画(予定)

**形式** 3種類 オンデマンドと実施後のアーカイブはYouTube、ライブ配信はZoomを利用

**出展料** 無料 ただし、企画実施に必要な機器や、準備にかかる一切の費用(材料費、搬送費、打ち合わせの交通費、宿泊費など)は出展者でご負担ください

形式		メリット	デメリット
①録画済み動画 (YouTubeでのオンデマンド)	録画した動画を11月初旬(予定)に運営事務局に提出	質の高い動画を作り込める	<ul style="list-style-type: none"> <li>・締切が早い</li> <li>・双方向性のある対話には工夫が必要</li> </ul>
②ライブ配信α (Zoomウェビナー) 講義型、シンポジウム型、ワークショップ型	<ul style="list-style-type: none"> <li>・決められた日時に企画を実施</li> <li>・<u>来場者との対話が議論の結果に影響する</u>など、ライブ感のある企画を実施</li> </ul>	プライバシー性高く双方向性のある対話が可能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保存・公開を意識した企画設計と進行が必要</li> <li>・濃密な対話には工夫が必要</li> </ul>
③ライブ配信β (Zoomミーティング) 対面式のブレイクアウトルームを使用	したい要望に対応	濃密な対話が可能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対面式に慣れない参加者が離脱する可能性あり</li> <li>・保存・公開を意識した企画設計と進行が必要</li> </ul>

※ライブ配信時の対話の材料として録画済み動画を放映することもできます(著作権の取り扱いにはご注意ください)

# 応募条件

サイエンスアゴラの趣旨に賛同し、以下の内容に同意のうえ応募すること

1. 本イベントの基本設計に沿った「対話」が前提の企画を実施する
2. 企画実施後3日以内に、ウェブサイト等で公開可能な開催報告(レポート)を運営事務局に提出する
3. ご自身の企画の事前告知・広報・集客ができる(参加の事前登録システムは運営事務局が用意しますが、集客は出展者が行います。なお、サイエンスアゴラ公式SNSでは、皆さんの告知をリツイートなどで紹介し、各企画の広報をサポートします)
4. ライブ配信の場合、運営事務局が指定する時間にZoomで実施し、その記録動画をYouTubeで公開することに同意する(公開期間は最低1年／主として未成年が関わる企画の記録については相談可)

# 各日の企画実施数(予定)

## プレアゴラ ライブまたはオンデマンド 6企画(公募の対象です)

※初のデジタルの日で、メディアの注目度が高くなると予想されます  
※デジタルに関連する企画はプレアゴラでの企画実施もご検討ください

10/10(日)	10/11(月)
デジタルの日 (3企画)	デジタルの日 (3企画)

## サイエンスアゴラ ライブ60企画、オンデマンド20企画

録画済み動画(オンデマンド企画(20企画)公開は2日夜を予定)

11/3(祝・水)	11/4(木)	11/5(金)	11/6(土)	11/7(日)
ライブ配信 17~20企画	ライブ配信 3企画	ライブ配信 3企画	ライブ配信 20企画	ライブ配信 17企画

# 会期中のタイムテーブル(初日)

	ジャンルA	ジャンルB	ジャンルC	ジャンルD
10時	企画実施 (90分以内)	企画実施 (90分以内)	企画実施 (90分以内)	企画実施 (90分以内)
11時	交流時間(30分)	交流時間(30分)	交流時間(30分)	交流時間(30分)
12時	※12時から13時は企画を実施しません			
13時	企画実施 (90分以内)	企画実施 (90分以内)	企画実施 (90分以内)	企画実施 (90分以内)
14時	交流時間(30分)	交流時間(30分)	交流時間(30分)	交流時間(30分)
15時	企画実施 (90分以内)	企画実施 (90分以内)	企画実施 (90分以内)	企画実施 (90分以内)
16時	交流時間(30分)	交流時間(30分)	交流時間(30分)	交流時間(30分)
17時	企画実施 (90分以内)	企画実施 (90分以内)	企画実施 (90分以内)	企画実施 (90分以内)
18時	交流時間(30分)	交流時間(30分)	交流時間(30分)	交流時間(30分)
19時	企画実施 (90分以内)	企画実施 (90分以内)	企画実施 (90分以内)	企画実施 (90分以内)
20時	交流時間(30分)	交流時間(30分)	交流時間(30分)	交流時間(30分)
21時	※初日午前の企画数は限定の可能性あり			

# 会期中のタイムテーブル(平日)

	ジャンルA	ジャンルB	ジャンルC	ジャンルD
10時				
11時				
12時	※このタイムテーブルは一例です ※平日開催の企画開始時間は調整可能です ※企画のジャンルは自由です			
13時				
14時				
15時	企画実施 (90分以内) 交流時間(30分)			
16時				
17時	企画実施 (90分以内) 交流時間(30分)			
18時				
19時	企画実施 (90分以内) 交流時間(30分)			
20時				
21時				



# 会期中のタイムテーブル(土日)

	ジャンルA	ジャンルB	ジャンルC	ジャンルD
10時	企画実施 (90分以内)	企画実施 (90分以内)	企画実施 (90分以内)	企画実施 (90分以内)
11時	交流時間(30分)	交流時間(30分)	交流時間(30分)	交流時間(30分)
12時	※12時から13時は企画を実施しません			
13時	企画実施 (90分以内)	企画実施 (90分以内)	企画実施 (90分以内)	企画実施 (90分以内)
14時	交流時間(30分)	交流時間(30分)	交流時間(30分)	交流時間(30分)
15時	企画実施 (90分以内)	企画実施 (90分以内)	企画実施 (90分以内)	企画実施 (90分以内)
16時	交流時間(30分)	交流時間(30分)	交流時間(30分)	交流時間(30分)
17時	企画実施 (90分以内)	企画実施 (90分以内)	企画実施 (90分以内)	企画実施 (90分以内)
18時	交流時間(30分)	交流時間(30分)	交流時間(30分)	交流時間(30分)
19時	企画実施 (90分以内)	企画実施 (90分以内)	企画実施 (90分以内)	企画実施 (90分以内)
20時	交流時間(30分)	交流時間(30分)	交流時間(30分)	交流時間(30分)
21時	※最終日の19時以降は振り返り企画のみを実施			

# 企画のジャンルについて

来場者が興味のあるトピックを見つけやすくするために、企画は4種のジャンル分けを行います。下記は現在の想定で、ジャンル・トピックは応募状況によって変更となります。

ジャンルA コロナで変わる 「新しい生活」	ジャンルB 地域課題・ SDGs	ジャンルC 市民と共に 考える未来	ジャンルD 危機に備える
<u>トピック</u> <ul style="list-style-type: none"><li>・研究者の置かれる環境</li><li>・学習・体験・ものづくり</li></ul>	<u>トピック</u> <ul style="list-style-type: none"><li>・ダイバーシティ・インクルーシブネス</li><li>・資源・環境・エネルギー</li></ul>	<u>トピック</u> <ul style="list-style-type: none"><li>・先端技術・データの活用</li></ul>	<u>トピック</u> <ul style="list-style-type: none"><li>・災害からの復興</li></ul>

# 審査の観点

- ① 来場者と一緒に考えたい未来像や課題を設定しているか
- ② 企画内の対話を促し、気づきを集めるための工夫がなされているか
- ③ 出展者が来場者に提供出来るもの、来場者との対話から出展者が得たいものが考えられているか
- ④ 時間配分や配付資料等が適切か(関心度が異なる人への配慮も考えられているか)
- ⑤ 参加見込みのターゲット層への広報計画が妥当であるか

応募企画は、応募フォームをもとに、上記の観点に基づき審査します。採択通知はメールで行い、委員会からのコメントがある場合は併せてお知らせします。審査の観点が充実している企画には注目企画としての実施をお願いする場合があります。注目企画に選ばれると、公式ウェブサイト等で優先的な紹介が行われます。また、平日の注目企画は希望によりBASE Qを配信会場として利用できます(無観客が前提。会場費用は不要ですが、照明や音声等のオペレーター費用の一部として2万円程度をご負担いただく場合があります)。



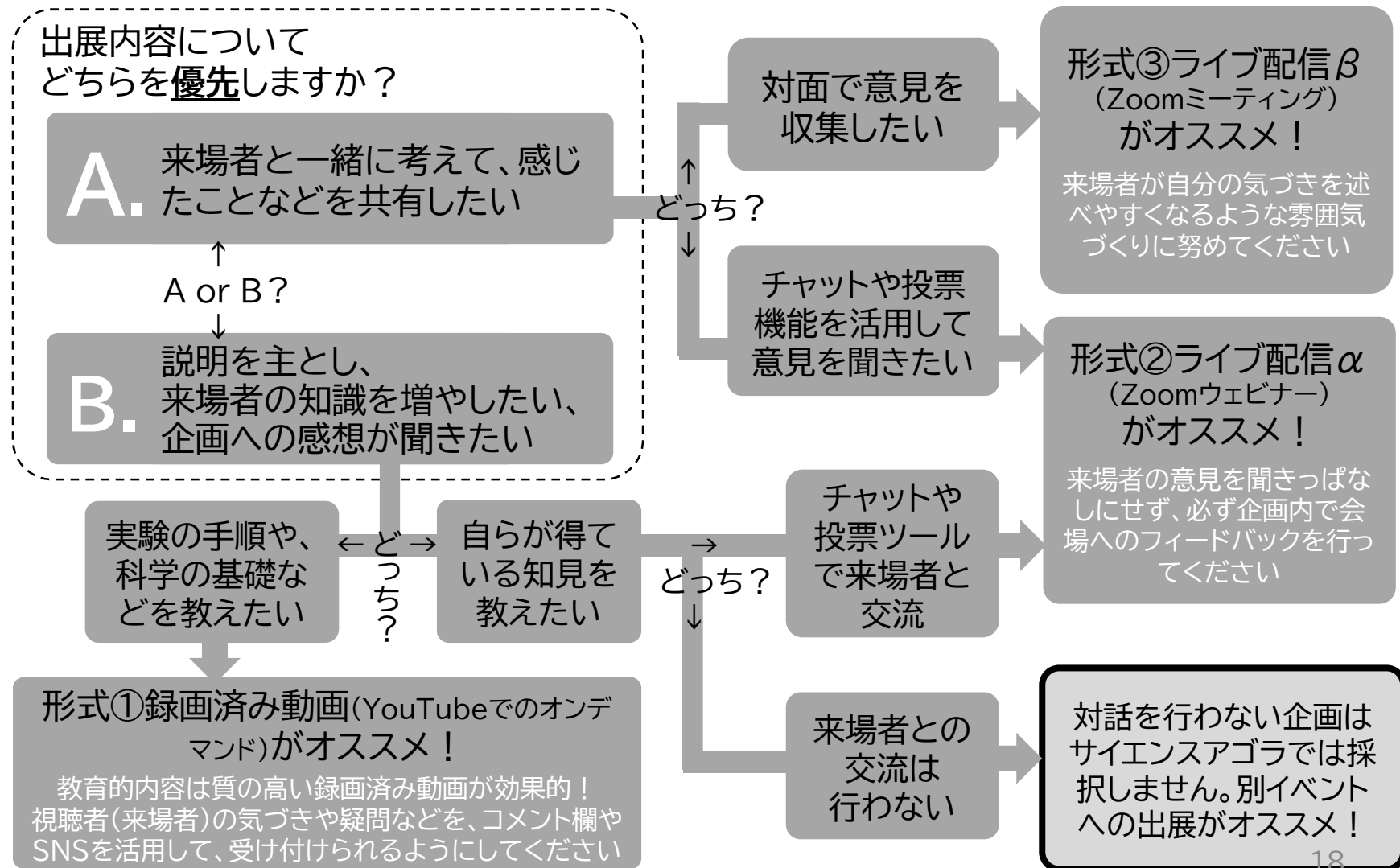
# 出展までの流れ

★は出展者側での準備作業です

- 6/1(火)● **出展企画・協賛企業の募集開始**(協賛制度については28ページをご覧ください)  
★内容の方向性検討、登壇者への打診、必要経費の確保、応募申請書の提出
- 6/30(水)● **応募〆切**
- 7月末● **サイエンスアゴラ2021推進委員会による審査を経た結果通知**  
★登壇者、協力者への連絡
- 8月末● **公開情報の登録** ※以降のスケジュールは変更になる場合があります  
★公開情報登録(英語含む)、出展同意書の登録
- 9月中旬● **出展者マニュアル掲載、ウェブサイトオープン**  
★マニュアルのダウンロードと内容の確認、広報計画の実施
- 10/10(日)● **プレアゴラ実施(6企画予定)、サイエンスアゴラの事前登録開始**
- 10/11(月)● **★録画済み動画は運営事務局にURLを送付**  
**★ライブ配信は台本の作成、リハーサル等**
- 11/3(水・祝)  
11/7(日)● **サイエンスアゴラ2021(80企画予定)**  
★企画実施を通して得られた「未来像への要望や気づき」をまとめ事務局に提出

会期後は運営事務局からの  
アンケートなどにご協力ください

# 出展形式選びのフローチャート



# 応募の手順

Web上の「応募フォーム」で受け付けます。サイエンスアゴラ公式サイト <https://www.jst.go.jp/sis/scienceagora/> から接続できます。

## 1) 応募のためのログインIDの取得

今後の事務手続きで連絡窓口になる方がご登録ください(採択通知ほか各種連絡は、このIDのメールアドレスにお送りします)。2015年以降にサイエンスアゴラへの出展にご応募いただいた方は、同じIDを引き続きご利用いただけます。IDがわからない方は新たに取得してください。

※複数の企画を応募の場合は、企画ごとに異なるIDが必要です  
例)セッション2企画を同時に申し込む → 2つのIDが必要

## 2) 応募の確定

「マイページ」で必要事項を記入したら「送信」ボタンを押して応募を確定してください。事前に記載内容を検討し保存しておくことを推奨します。応募確定後も、応募受付締め切り日時までは、入力した情報の確認・修正ができますが、システムの仕様上、締切日以降は修正も閲覧もできません。送信内容はご自身で控えを取り、管理してください。

# 応募フォームの内容

サイエンスアゴラでは、企画タイトル・出展者名表記の統一ルール(国立大学法人、株式会社、特定非営利活動法人などの法人格はすべて省略など)を設けています。応募フォーム中に記載があるのでご確認ください。2時間でログアウトになるので、以下の内容をあらかじめ作成しておくことをお勧めします。

No	項目	内容	
1	出展者の名称	出展者の名称をご記入ください(全角25字以内、法人格は省略)	テキスト入力
2	出展企画タイトル	企画タイトルをご記入ください(全角25字以内、全体を「」で囲わないこと)	テキスト入力
3	出展者の属性	出展者の属性を選択肢から1つ選んでください。該当がない場合は「その他」を選択してください	<input type="radio"/> 大学・研究機関 <input type="radio"/> 学校関係(小中高等) <input type="radio"/> 科学館／博物館 <input type="radio"/> メディア <input type="radio"/> 企業 <input type="radio"/> 行政機関 <input type="radio"/> NPO／NGO等 <input type="radio"/> 組織ではない(有志の集まりなど) <input type="radio"/> その他



No	項目	内容	
4	代表者氏名と所属	採否通知等の宛先となる、企画提供の代表者氏名とご所属を、氏名(所属)の形式でご記入ください	テキスト入力
5	過去の出展実績	サイエンスアゴラでの企画提供の実績を選択肢から選んでください	<ul style="list-style-type: none"><li>○初めて出展する</li><li>○一度出展したことがある</li><li>○複数回の出展経験がある</li></ul>
6	出展の形式①	やりたいことに近い選択肢を選んでください	<ul style="list-style-type: none"><li>○TYPE1:実験の手順や科学の基礎などを教えたい</li><li>○TYPE2:対面で意見を収集したい</li><li>○TYPE3:チャットや投票機能を活用して意見を聞きたい</li><li>○TYPE4:自らが得ている知見を教えたい</li></ul>
7	出展の形式②	募集要項の出展形式選びのフローチャートを参考にして、出展の形式を選択肢から選んでください	<ul style="list-style-type: none"><li>○録画済み動画(YouTubeでのオンデマンド)</li><li>○ライブ配信<math>\alpha</math>(Zoomウェビナー)講義型、シンポジウム型、ワークショップ型</li><li>○ライブ配信<math>\beta</math>(Zoomミーティング)対面式のブレイクアウトルームを使用</li></ul>



No	項目	内容	
8	対話の 主な対 象	特に重視するコミュニケーションの対 象を、3つ以内で選択してください	<input type="checkbox"/> 小学生以下 <input type="checkbox"/> 中学生、高校生 <input type="checkbox"/> 大学生、大学院生 <input type="checkbox"/> 高校生以下の子供を持つ親 <input type="checkbox"/> 教育関係者 <input type="checkbox"/> 立法・行政関係者 <input type="checkbox"/> 研究者、専門・技術サービス関係者 <input type="checkbox"/> メディア関係者 <input type="checkbox"/> 企業関係者
9	企画の 概要	普段の活動の目的を達成するために、 この企画を通じて何を考え、対話しま すか。対話によって来場者は何が得ら れ、出展者としてはどんな成果を得た いかを意識して、企画の概要を記載し てください(全角300文字以内)	テキスト入力
10	登壇者 情報	どのような人が登壇するのかを記載 してください(全角300文字以内)	テキスト入力
11	テーマ との関 わり	テーマ「Dialogue for Life」を、ど のような視点で取り扱いますか(全角 300文字以内)	テキスト入力



No	項目	内容	
12	企画進行の段取り①	90分以内の企画でどのように話を進めるか、登壇者の持ち時間や来場者に共有する資料などを具体的に記載してください(全角300文字以内)	テキスト入力
13	企画進行の段取り②	企画終了後に設ける30分の交流時間で、どのような対話を行うか記載してください(全角300文字以内)	テキスト入力
14	運営について	企画実施時のスタッフの人員構成を記載してください(全角300文字以内)	テキスト入力
15	広報計画	自分たちで、いつ、どのようなタイミングで、どんな手段(チラシ、SNS、ホームページ、メルマガなど)で広報を行うか、具体的な計画を記載してください(全角300文字以内)	テキスト入力
16	企画実施日①	プレアゴラの10月10日(日)、11日(月)での企画実施の意向をお知らせください	○10月10日に実施可能 ○10月11日に実施可能 ○プレアゴラでは実施不可



No	項目	内容	
17	企画実施日②	企画実施可能な日時をすべて選んでください	<input type="radio"/> 11月3日(水・祝)午前 <input type="radio"/> 11月3日(水・祝)午後 <input type="radio"/> 11月4日(木)午後 <input type="radio"/> 11月5日(金)午後 <input type="radio"/> 11月6日(土)午前 <input type="radio"/> 11月6日(土)午後 <input type="radio"/> 11月7日(日)午前 <input type="radio"/> 11月7日(日)午後
18	Zoomアカウント	企画実施とリハーサルの際に、運営事務局から無料で貸与するZoomアカウントの利用を希望しますか	<input type="radio"/> 希望する <input type="radio"/> 希望しない
19	英語対応①	英語対応が可能ですか(英語での企画内容説明や説明資料の日英併記など、何らかの工夫を推奨します)	<input type="radio"/> 可能 <input type="radio"/> 不可能
20	英語対応②	同時通訳を利用しますか(通訳の手配申込みではありません。通訳者、機材はご自身でご用意ください)	選択肢から選択 <input type="radio"/> 利用する <input type="radio"/> 利用しない
21	特記事項	YouTubeでの同時配信希望、平日午前の企画実施希望など、特に事務局に伝達すべきことがあればお知らせ下さい(全角300文字以内)	テキスト入力



# JST主催企画、コラボ企画、誘致企画 (2021年5月31日現在)

JSTサイエンスアゴラ事務局では、サイエンスアゴラ2021推進委員から出展者へのインタビュー、期待する未来の1シーンを描くワークショップ、夢のような発想から実装に至る道筋を探るセッション、ゆるいマッチングなどを検討中です。参加者への協力をお願いする企画は、詳細が決まり次第、サイエンスアゴラの公式サイトやSNSで告知します。その他、以下の企画を予定しています。

## ●アゴラ市民会議

研究者や企業の方、市民の方にもご参集いただき、協働に向けて実現可能なアイデアを出し合う対話・ディスカッションを行います。今後の新たな生活に向けて、科学技術と社会との新しい関係の模索をしていきます。

## ●IVRC2021(Interverse Virtual Reality Challenge)

【誘致企画】サイエンスアゴラ2019から併催しているIVRCは、昨年から、リアルとバーチャルが融合(Interverse)する時代に向けた、様々な視点からのチャレンジを募集する内容となりました。学生たちが創り出す新しい時代のVRをご紹介します。

# JST主催企画、コラボ企画、誘致企画 (2021年5月31日現在)

## ●第3回 輝く女性研究者賞(ジュン アシダ賞)表彰式&トークセッション

JSTは2019年度に、女性研究者の活躍推進の一環として、持続的な社会と未来に貢献する優れた研究等を行っている女性研究者及びその活躍を推進している機関を表彰する制度を創設しました。サイエンスアゴラでは、受賞者・受賞機関を当日発表し、表彰式と受賞者・受賞機関代表者を交えたトークセッションをWeb配信します。

そのほか、以下との連携を予定しています。

- ジュニアドクター育成塾参加の小・中学生企画
- グローバルサイエンスキャンパス(GSC)参加高校生企画
- イノベーション・ジャパン2021～大学見本市Online(8月23日(月) 10:00～9月17日(金)17:00)

# サイエンスアゴラ2021推進委員会

※敬称略



**駒井章治**(サイエンスアゴラ2021  
推進委員会委員長、東京国際工科専門職大学 工科学部 情報工学科 教授)



**齋藤敦子**(FCAJ理事/コクヨ株式会社)



**高橋祥子**(インキュビオン CEO)



**サリー楓**(日建設計 NAD室 コンサルタント)



**根本かおり**(博報堂ブランドイノベーションデザイン局)



**廣常啓一**(新産業文化創出研究所 所長)



**南澤孝太**(慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 教授)



**宮野公樹**(京都大学 学際融合教育研究推進センター 准教授)



**荒川敦史**(JST「科学と社会」推進部 部長)

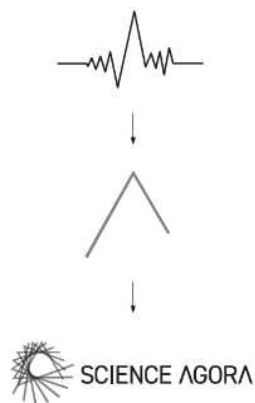


**森田由子**(JST 日本未来科学館 科学コミュニケーション専門主任)

# 協賛企業の募集について

サイエンスアゴラの活動に共感し、サポートしてくださる協賛企業を募っています。協賛いただいた企業・団体には、優先的にセッションを実施できる枠を設けます。詳細は決定次第、サイエンスアゴラの公式サイトでご案内します。

<https://www.jst.go.jp/sis/scienceagora/>



## LOGO CONCEPT

発見やひらめきを感じた瞬間、人は大きな喜びを感じます。  
その気持ちが跳ね上がる瞬間を捉え、ロゴにしました。  
一つの要素が重なり、紡がれていく様子を表しており、  
多数の要素が集まることで大きく広がりを見せる場を象徴します。  
未来へとさらに発展していく様子を未完成な形で表し、  
人の対話とひらめきが重なりあい、未来を創る大きな力を表現します。

皆さまからの  
出展のご応募、  
協賛へのお問い  
合わせを  
お待ちしております

サイエンスアゴラ2021(オンライン開催)募集要項【特別付録】

# サイエンスアゴラ2021における 企画の発想と組み立て

---

採択される、集客に成功する企画は他と何が違うのか？  
楽しい・役立つ・成果があがる！ 企画実施のコツとテクニック

---

昨年のサイエンスアゴラで評価の高かった企画の分析結果から、立案から実施までに意識すべきことをまとめました。一部、採択後に実施する内容も含まれていますが、応募段階ですべての工程を考えておくことが、スムーズな企画実施には必要とお考えください。

立案から実施までに意識すべきこと

# 出展の目的を持つ

企画実施の軸になるのは、皆さんの普段の活動です。そのうえで、サイエンスアゴラのテーマ「Dialogue for Life」に沿った企画が実施できるか整理してください。また、皆さんの企画を通じて、未来社会に対する来場者(視聴者)の気づきを集めるというミッションも意識してください。

- ✓ 普段の活動の目的を達成するには、どんな行動や対話が必要か
- ✓ サイエンスアゴラの企画で、目的達成に必要な部分のどこを達成できるか
- ✓ サイエンスアゴラでの企画実施が目的達成に効果的か
- ✓ 来場者と共に考えたいことは何か

立案から実施までに意識すべきこと

# 登場人物を考える

来場者(視聴者)と語り合いたいテーマに沿った人選ができていますか？ 様々な気づきを述べやすい場作りができていないか確認しましょう。

- ✓ 企画で考えたい・やりたいことに対して適切な人選ができていないか(専門のバランス)
- ✓ ジェンダーバランス、年代を意識しているか(偏りがないようにするか、あえて偏らせるか)
- ✓ セッションを進行する際のファシリテーターは単独がよいか、登壇者と兼任で良いか(zoomによるセッションでは、ファシリテーターが重要な役割を果たします)
- ✓ 登壇者には、専門外の方が来場していることを伝え、スライドに用語の解説を盛り込む、映像や図を活用するなど、分かりやすい説明を促してください。また、映像等のコピーライトにもご注意ください

立案から実施までに意識すべきこと

# ストーリーを考える

来場者(視聴者)を飽きさせない(置いていかない)ためには、どのように話を進めればよいでしょうか。起承転結のあるストーリーが作れているかをチェックしてみましょう。

- **起** 企画の冒頭でインパクトを与えられるか？ どのような問いや未来像を提示するか？
- **承** 話題提供をいれるか？ 視聴者とのワークに入るか？
- **転** 参加者との自由な対話により、予期せぬ発見がありそうか？(発見を促す設計ができていますか？)
- **結** このセッションで得られたもの、今後の展開等についてどのようにまとめるか？ 来場者に何を持ち帰ってもらうか？



立案から実施までに意識すべきこと

# デザインを考える

90分の持ち時間の終わり近くなって「時間が足りない！」  
とならないよう、配分を考えましょう。

- ✓ 登壇者の持ち時間は適切か(登壇者の発表時間が10分以下だと参加者が内容を理解しにくく、20分を超えると飽きられる場合があります)
- ✓ 対話の工夫をどこに、どのようにいれるか
- ✓ 来場者の参加度の違いも考慮(スマホで参加、PCで参加、片手間でいいから聞いてもらいたい、しっかり参加してほしい、など)
- ✓ 「あると便利なもの(後述)」の使用を検討

立案から実施までに意識すべきこと

# ターゲットに企画を知らせる

出展者が独自に行う広報計画も審査対象です。事前の告知・広報なくしては、自分の企画に多くの来場者が訪れることはありません。ターゲットごとに、どのような告知・広報を実施すれば効果的かを考えてください。集客に成功した企画は以下の取り組みを組み合わせで行っていました。

1. **関係機関へのリーフレット郵送**: 独自にリーフレットを作成し、公的機関や自治体の担当課へ郵送。テーマと関係しそうな分野の研究者や実践者にも送付
2. **関係機関のメーリングリスト配信やサイト掲載依頼**: 企画に関連するWebサイトを調べるとともに、登壇者の方に良い広報先を伺い、情報掲載を打診
3. **Webサイト・SNSでの告知**: 自分たちのWebサイトやSNSでの告知と同時に、登壇者にも企画のPRを依頼

立案から実施までに意識すべきこと

# リハーサルを行う

出展者自身がイベントの進行に慣れていても、登壇者が慣れているとは限りません。また、来場者目線でのわかりやすさが確保できているかもぜひチェックしてください。

- ✓ 通信環境の確認(良好なインターネット環境(安定したWi-Fi環境や有線)での企画実施をお願いします)
- ✓ スタッフの作業確認(司会進行(ファシリテーター)、資料投影など画面の管理役、コメントやQ&Aを拾い上げる役割がうまく回るか、スタッフのロジ周りの確認も行います)
- ✓ 企画実施後に提出するレポートのことも考えましょう

立案から実施までに意識すべきこと

# 本番での企画実施

世の中の様々な声を取り上げてこそ、サイエンスアゴラで企画を実施する意味があります。異なる意見の人も含めて対話ができる工夫をお願いします。

- ✓ 自分の意見と異なる意見は、私たちの見方や視点を広げてくれます。異なる意見を排除しないでください
- ✓ 誰かの主張に納得したうえで意見が変わるのは恥ずかしいことではありません
- ✓ 一人の人が話しすぎないように留意してください
- ✓ 社会は必ずしも多数決によって決まるものではありません、少数意見も留意点として考えてみましょう

立案から実施までに意識すべきこと

# 振り返る

アンケートや当日の様子をもとに、狙いのどこが達成できて、どこが足りなかったか、関係者で振り返りを行い、今後の取り組みに生かしましょう。

- ✓ 話の進め方は適切だったか
- ✓ 来場者の気づきを十分に拾い上げられたか、来場者との対話で得たものは何だったか
- ✓ サイエンスアゴラでの気づきや出会いによって今後の活動が活発になりそう、新たな取り組みを開始できそう、などの兆しがありましたら、ぜひ事務局にお知らせください

立案から実施までに意識すべきこと

# あると便利なもの

- ✓有線LAN環境
- ✓バーチャル背景
- ✓slido
- ✓タイマー
- ✓グラレコ、筆記ツール
- ✓スタジオ
- ✓マイク、カメラ
- ✓スケッチブック
- ✓現場からの中継
- ✓アンケート
- ✓Googleスプレッドシート、jamboardなど（Zoomで来場者も簡単に使用できるかを考慮する必要があります）
- ✓アイスブレイク用の問い
- ✓参加者と考えたい問い

## 【コラム】 ご存じですか？参加率

一般的にオンラインイベントの参加率は

# 30～40%

実会場で開催していた際のサイエンスアゴラは、事前登録後の来場率が80～90%と非常に高いのが特徴でしたが、オンライン開催のサイエンスアゴラ2020では、Zoomでの平均的な来場率は約30%で通常のイベントと変わりません。出展者は当日のキャンセルを含んだ広報や集客を行うほか、キャンセル率をなるべく下げるため、企画実施当日に向けてSNSで進捗をお知らせするなどして、来場者の期待感を高める工夫が必要です。